

平成30年度 第1回 北杜市立学校給食調理場運営委員会議事録

開催日時 平成30年7月19日(木) 15時30分～

開催場所 北杜市立北杜南学校給食センター2階 研修室

出席者

加藤 桃子 委員 中山 久美 委員 清水 英治 委員
島村 美紀 委員 井出 良司 委員

(事務局) 北杜市教育委員会教育長 堀内 正基
北杜市教育委員会学校給食課長 河手 貴
北杜市教育委員会学校給食課収納担当リーダー 小尾 泰士
北杜市教育委員会学校給食課給食担当リーダー 鈴木 彰

欠席者 清水 竜司 委員 堀内 真美 委員

- 1 開会のことば
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 学校給食調理場運営委員会委員及び事務局の自己紹介
- 5 役員選出

北杜市立学校給食調理場条例施行規則第6条第1項により
委員長 加藤桃子 委員 副委員長 島村美紀 委員を選出

北杜市立学校給食調理場条例施行規則第7条第1項により、
委員長が議長となり議事進行を進める。

公開・非公開の別 公開

傍聴人 定員 5名 傍聴人員 1名

会議録署名委員の決定 中山久美 委員 清水英治 委員

6 議事

学校給食調理場条例施行規則第7条第1項の規定により、委員長 加藤桃子 氏が議長となり、議事進行を行う。

議 題

- (1) 平成30年度学校給食調理場の運営について
 - ① 平成30年度学校給食年間事業計画
 - ② 平成30年度北杜市立学校給食調理場の状況
 - ③ 平成30年度学校給食予算の状況
 - ④ 平成30年度学校給食賄材料費
 - ⑤ 学校給食に係る地産地消の取組み
 - ⑥ 学校給食における食物アレルギー対応
 - ⑦ 学校給食の放射線検査
- (2) 学校給食費について
- (3) 今後の学校給食センターへの統合方針について
- (4) その他

(議事)

- | | |
|-----|--|
| 議 長 | 北杜市立学校給食調理場運営委員会の概要について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 北杜市立学校給食調理場運営委員会の概要について説明いたします。(資料 22 頁)

北杜市立学校給食調理場条例第 6 条第 1 項「給食センター等の運営に関する重要事項を調査審議するため、北杜市立学校給食調理場運営委員会を置く。」となっております。

2 運営委員は、委員 7 人以内で組織する。
3 委員は教育委員会が委嘱し、又は任命する。
4 委員の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。
5 委員に欠員が生じたときは、補欠委員を委嘱し、又は任命する。
6 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。と定められております。

北杜市立学校給食調理場条例施行規則第 5 条 (資料 26 頁) をご覧ください。

(1) P T A 連合協議会を代表する者
(2) 小中学校校長会を代表する者
(3) 学識経験者
(4) その他教育委員会が必要と認める者
となっております。概要説明については以上でございます。 |
| 議 長 | ただ今の事務局の説明について、ご質問等ございますか。
ないようですので次に進みます。 |
| 事務局 | (1) 平成30年度学校給食調理場の運営について、事務局から説明をお願いします。

(1) 平成30年度学校給食調理場の運営について (資料 2~12 頁) ①から⑦を担当より一括説明させていただきます。 |

事務局

①平成30年度学校給食年間事業計画(事務)について(資料2頁)、説明いたします。
計画表の内容について説明をする。

②平成30年度北杜市立学校給食調理場の状況について(資料3頁)、説明いたします。
給食施設(5施設)、小中学校19校(小学校11校、中学校8校)、給食施設ごとに小
中学校へ給食配送数、各給食施設の給食従事職員数等について説明をする。

③平成30年度学校給食予算の状況について(資料4頁)、説明いたします。
予算(歳入・歳出)等について説明をする。

④平成30年度学校給食賄材料費について(資料5頁)、説明いたします。
給食施設(5施設)ごとの給食賄材料費について食数、補助、金額等の説明をする。

⑤学校給食に係る地産地消の取り組みについて、(資料6頁)説明いたします。
目的、取組、課題等について説明をする。

⑥学校給食における食物アレルギー対応について(資料7~9頁)説明いたします。
基本的な考え方、管理指導表等について説明をする。

⑦学校給食の放射線検査について、(資料11~12頁)説明いたします。
検査概要、検査内容等について説明をする。

議長

①から⑦番までまとめて説明がありましたが、1案件ごとに質問をいただきたいと思
います。①平成30年度学校給食年間事業計画について、ご質問等ございますか。

委員

ありません。

議長

②平成30年度北杜市立学校給食調理場の状況について、ご質問等ございますか。

委員

ありません。

議長

③平成30年度学校給食予算の状況について、ご質問等ございますか。

委員

③平成30年度学校給食予算の状況(資料4頁)の合併特例債が記載されているが、
今後5年間で無くなってしまふのか、あるいはまだ使えるのか説明して下さい。

事務局

合併特例債の期限につきましては、平成32年度まででしたが、再延長があり平成37
年度まで延長されたところです。これに伴いまして、学校給食施設の事業計画も平成3
7年度まで延長したところです。施設整備につきましても37年度まで実施していく計

画をたてています。

委員 毎年、同等額位でいくのですか。

事務局 厨房機器の更新等が中心になりますので、年度によっては更新時期が重なり多い少ないはありますが、北杜市の財政的部分もありますので、毎年度平均した金額で整備ができる計画をたてています

委員 平成30年度の予算として合併特例債を財源として入れたのは、備品（厨房機器）購入に対して起債対象になるので財源として充てさせていただきました。

5年間延長されたことで北杜市の特例債残額が変わったわけではなく、今後の5年間で使用していく訳ですが、学校給食課で整備を要望したときに、財源として合併特例債が充てられるかは、別の問題になります。

委員 わかりました。

議長 よろしいでしょうか。他にご質問等ございますか。

議長 ④平成30年度学校給食賄材料費について、ご質問等ございますか。

委員 ④学校給食賄材料費の表（資料5頁）の中に保存食とありますが、どのような物なのか。また、3食分と2食分についても説明して下さい。

事務局 衛生管理基準によりその日に作った給食を3食分保存食として保存するようになっている。各学校給食センターは納品時の食材、調理後の給食分（小学校1、中学校1）、計3食を保存しています。泉中学校につきましては、納品時の食材、調理後の給食分（中学校1）の2食分を保存食として保存しています。

委員 保存の目的について説明して下さい。

事務局 衛生管理基準で万が一に食中毒が発生した場合に発生源を特定するために保存食として保存することを義務付けられています。

委員 わかりました。

議長 ⑤学校給食に係る地産地消の取り組みについて、ご質問等ございますか。

委員 ありません。

- 議 長 ⑥学校給食における食物アレルギー対応について、ご質問等ございますか。
- 委 員 ⑥食物アレルギー対応（資料 7～9 頁）の説明については、分かりましたが、⑥学校給食の配属給食施設別食物アレルギー対応表（資料 10 頁）の説明をして下さい。
- 事務局 ⑥学校給食の配属給食施設別食物アレルギー対応表（資料 10 頁）で 5 施設ある学校給食センターの中で、6 品目の除去食対応を実施しているのが、北杜南学校給食センター、北杜北学校給食センターの 2 施設、施設上の関係でほかの 3 施設は牛乳停止のみ対応しています。
- 委 員 わかりました。
- 議 長 ⑦学校給食の放射線検査について、ご質問等ございますか。
- 委 員 ⑦学校給食の放射線検査についての中で⑨検査結果に基づく食材使用の適否（資料 12 頁）の説明をして下さい。
- 事務局 ⑦放射線検査については、簡易検査であり検査の数日後に給食食材として使用する食材を検体として検査を行っています。検査結果で測定限界値 10 ベクレル (Bq/kg) 以下は不検出で表示されるため、給食食材として使用しています。
- 基準値を超える疑いのある(放射性セシウムが 51～100 ベクレル (Bq/kg) 場合や基準値(放射性セシウム 100 ベクレル (Bq/kg) を超えた場合については、詳細な検査を再度行う必要があるため当該食材は給食に使用しません。
- 委 員 わかりました。
- 委 員 放射線検査の回数について年 10 回では少ないと思いますが、検査回数を増やす予定はありますか。
- 事務局 現在、山梨県給食食材放射線検査事業で、北杜市として年 10 回の検査計画で実施しています。検査回数を増やす場合につきましては、翌年度の検査計画を県に提出する際に、変更しないと、検査を実施している他市町村にも影響がありますので、今年度中に急に増やすことはできません。資料 12 頁の県内の検査状況から北杜市を含む 6 市が 10 回実施しており、他の 4 市が 3～5 回と回数を減らしている中で、北杜市としては、安全・安心の食材を求める意味でも、引き続き年 10 回の検査を実施してまいります。

委員 わかりました。

議長 他にご質問等ございますか。無いようなので、(2) 学校給食費について事務局から説明をお願いします。

事務局 (2) 学校給食費について、(資料 13～15 頁) 説明いたします。

1 食当りの学校給食費の現状、給食費の収納状況、今後の学校給食費等について説明をする。

議長 学校給食費について、ご質問等ございますか。

ないようなので、(3) 今後の学校給食センターへの統合方針について事務局から説明をお願いします。

事務局 (3) 今後の学校給食センターへの統合方針について(資料 16～21 頁) 説明をいたします。

学校給食センターの経緯・方針、現状、武川学校給食センターの統合について、武川学校給食センター統廃合に関する説明会での要望について、おかず用の保温食缶の導入について、栄養士の充実、子供達に地元食材への理解を深めてもらう機会、アンケートの実施等について説明をする。

おかず(主菜)用保温食缶の導入について(資料 19 頁)の説明資料の保温用食缶を委員に見てもらおう。

議長 (3) 今後の学校給食センターへの統合方針について、ご質問等ございますか。

委員 武川学校給食センターの老朽化に伴う統合もですが、小淵沢学校給食センターも老朽化が進んでいるので修繕費等の予算取りをしてもらいたい。

事務局 わかりました。

議長 他にご質問等ございますか。

委員 今現在、おかず(副菜)用の保温・保冷用食缶はすべての給食センターで使用していて、おかず(主菜)用食缶は保温用でないため全ての給食センターで使用していきたいということでしょうか。

事務局 そうです。

- 委員 保温食缶導入における課題について（資料 20 頁）
- ・揚げ物で食缶内の水蒸気によりしっとりしてしまう。
 - ・現在の食缶より食缶自体が重い。
 - ・現在の食缶との寸法の違いにより、保温食缶を保管する消毒保管機の収納スペースの確保等の課題について、改善策があるのか説明してください。
- 事務局
- ・揚げ物等で食缶内の水蒸気については、すぐに蓋をせず、しばらくしてから蓋をしたり、食缶保管機で事前に食缶自体を温めておく等の対応を考えています。
 - ・現在使用している食缶と比較すると重くはなりますが、米食缶や汁食缶と同じように使用上問題はないと考えています。
 - ・消毒保管機の収納スペースの確保については、食缶の大きさが変わるので、現在使用している消毒保管機で対応できる範囲で使用し、新たに消毒保管機の購入もしたいと考えています。
- 委員 わかりました。
- 委員 市では、武川学校給食センターの統合に伴う要望として保温食缶の導入について、調理場運営委員会で検討したうえで導入していきたいということを議会に報告している経過がありますので、調理場運営委員会の意見としてご判断いただきたい。
- 委員 冷たいおかずより温かいおかずの方が良いと思います。
- 委員 昨年度、武川学校給食センターの統合に伴う説明会を行った時に、保護者から試食会の要望があり、児童生徒、保護者の希望者を統合先の北杜南学校給食センターにおいて試食会を実施した経過がありました。その時のアンケート結果は、おかずが冷たいという意見が多かった。味についてはおいしいということでした。
- 統合に向けては、保温用食缶を使用して少しでも温かい状態で子ども達が食べられるようにとの意見が出ました。
- 委員 調理場運営委員会としては保温用食缶を導入していくということでいいと思います。
- 議長 他にご質問等ございますか。特にないようですので、議事の全てを終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

(閉会)

(17時20分終了)

署名委員 _____

署名委員 _____